


●「二本杉ほがらか会」の竹細工(三木町)

 投稿者: さっちゃん (60代・女性)

【8月頃体験・親子・友人で訪問】

平均年齢70歳以上。おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋のような雰囲気の良い先生たちが、春にはたけのこ狩り。秋には芋ほり、そば打ちと竹細工は年間を通じて、さまざまな体験を教えてください。高仙山の山頂にある御食事処「さんさい茶屋」が体験施設の場を兼ねていますが、三木町の竹細工の名人の1人、篠原のおじいさんは、町立の施設やイベントに呼ばれて、30人以上の前で竹細工の講師をすることもあるそうです。

今回は、竹細工で「ふくろう」と「カニ」を作りました。電話で予約をして、2家族の子供たち4人が体験しました。材料の竹は、あらかじめ切り分けてくれていたので、完成作品をじっと見ながら、好みのパーツを選んで、接着剤でくっつけていきます。自分の好みの形がなかったときは、色々な大きな竹の中から選んで、好みの形に切ります。切ったり、穴を開けたりは、篠原さんがやり方を教えてくれるので、自分で切ることもできました。

竹のふくろうは、丸い顔の輪郭がぼつちやりした可愛い親子が作れました。

竹のカニは、足を細い足枝で作って、火にあぶってやわらかく曲げるのがコツがいります。

すぐには燃えませんが、火に近づけすぎると黒くなってしまい、遠いと曲がりません。

曲げすぎると、カニが斜めの立ち姿になるので、真剣にバランスをとります。面白いです。

出来上がった竹細工は、大人顔負けの完成度で子供たち全員がとても喜びました。時間は、小さい子もいたので1時間半くらいかかりましたが、あっという間でした。動物たちだけだと寂しいので、細い竹の枝も少し頂いて帰り、家でジオラマのように竹の森を作って置く予定です。

今回は、夏だったので、公園には、散歩や写真を撮る人が時々いるくらいで、まばらでした。

ここは神社が近く、秋には「秋祭り」があり、毎年10組くらいの獅子が高仙山の山頂に上がって来て、にぎやかに獅子舞が行われます(だいたい10月の第3日曜日のあたりです)。

さんさい茶屋の店は祭りの日も開いているそうなので、獅子舞を見にきがてら、また立ち寄ってみたいと思います。